

【変更後】

宮城県中部地域養殖復興プロジェクト計画書
(女川町支所グルメイトギンザケ部会)

| | | | |
|-----------------|----------------------|----------------|--------------------|
| 地域養殖復興プロジェクト名称 | 宮城県中部地域養殖復興プロジェクト計画書 | | |
| 地域養殖復興プロジェクト運営者 | 名称 | 宮城県漁業協同組合 | |
| | 代表者名 | 代表理事理事長 阿部 力太郎 | |
| | 住所 | 宮城県石巻開成1番27 | |
| 計画策定年月 | 24年 4月 | 計画期間 | 24年 4月 ~ 26年 8月 |

1 目的

女川町支所は、宮城県中部に位置し、ギンザケ・カキ・ホタテ・ホヤ等の養殖が盛んで、当該地域の主力産業になっている。しかしながら、東日本大震災に伴う津波により、養殖施設及び水産物並びに陸上の養殖施設は壊滅的な被害を受けた。そのため、今回3経営体が共同体を組織し、共同による養殖資材の導入、同じ餌飼料の導入で、生産管理及び品質管理の徹底を図る。また、給餌量の適正化等を通じて持続可能な養殖漁場を作り漁業経営の安定を目指す。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

○ 宮城中部地域県養殖復興協議会

| 所 属 | | 役 職 | 氏 名 | 備考 |
|--------|--------------|--------|-------|------|
| 養殖関係 | 宮城県漁業協同組合 | 理 事 | 佐藤 徳弥 | 役職指定 |
| 養殖関係 | 宮城県漁協石巻総合支所 | 運営委員長 | 丹野 一雄 | 役職指定 |
| 養殖関係 | 宮城県漁協石巻総合支所 | 支 所 長 | 渥美 武義 | 役職指定 |
| 地方公共団体 | 宮城県東部地方振興事務所 | 水産漁港部長 | 武川 治人 | 役職指定 |
| 地方公共団体 | 石巻市産業部水産課 | 課 長 | 勝亦 睦男 | 役職指定 |
| 地方公共団体 | 女川町産業振興課 | 課 長 | 阿部 敏彦 | 役職指定 |

女川町支所グルメイトギンザケ部会委員名名簿

| 所属機関名 | 役 職 | 氏 名 | 備考 |
|--------------------------|-------------|-------|------|
| 宮城県漁業協同組合女川支所 | 運営委員長 | 阿部 彰喜 | 役職指定 |
| 宮城県漁業協同組合女川支所グルメイトギンザケ部会 | ギンザケ養殖業者部会長 | 阿部 喜三 | |
| 宮城県漁業協同組合女川支所グルメイトギンザケ部会 | ギンザケ養殖業者副会長 | 阿部 正美 | |
| 宮城県漁業協同組合女川支所グルメイトギンザケ部会 | ギンザケ養殖業者 | 阿部 栄喜 | |
| 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部 | 水産振興班技師 | 鈴木 隆史 | 役職指定 |
| 女川町産業振興課 | 参 事 | 和田 篤朗 | 役職指定 |

3 震災前の養殖業の概要

女川町支所は宮城県中部に位置し、金華山沖の豊富な漁場が目前にあり、漁業の町である。養殖業も盛んで、ギンザケ・ホタテ・カキ・ホヤの水揚げがある。その中において特にギンザケ養殖は県内一で、50経営体は従事し4,475トン、1,850百万円と当支所の主力養殖業である。

震災前の施設等の状況

| 施設名 | 所有者（個人・共同利用の別） | 規 格 | 施設数 |
|------|----------------|--|----------------|
| 養殖施設 | 個人所有 | ギンザケ生簀 (8m×8角形) | 12台 (4台×3人) |
| 陸上施設 | 共同利用 個人所有 | 馴致水槽 64t (7m×7m×1.3m) 64t (7m×7m×1.3m) | 1台 3台 |
| 作業船 | 個人所有 | 15 t 未満漁船 10 t 未満漁船 5 t 未満漁船 | 2隻 1隻 3隻 |

4 被災状況

| | 規格及び数量 | 金 額 | 被災内容 |
|-------|-------------------------------|---|----------------------------|
| 養殖施設 | ギンザケ生簀 施設 11台(8m×8角形) | 3,000千円×11 台 33,000千円 | 流 出 |
| 陸上施設 | 馴致水槽 64 t (7m×7m ×1.3m) | 1,200千円×4台 4,800千円 | 流 出 |
| 作業船 | 15t未満漁船 10t未満漁船 5t未満漁船 | 12,200千円(1隻) 14,700千円(1隻) 2,800千円(3隻) | 流 出 |
| 養殖生産物 | ギンザケ | 599 t 269,550千円 | 流 失 59万9千尾 平均1k g /@450 |

5 計画の内容

(1) 共同化の取組

女川飯子浜養殖漁場のギンザケ業者3経営体が協業体を組織し、以下の取り組みを実施する。

① 施設の共同利用化

ギンザケ養殖に係る海上養殖施設・陸上施設はコスト削減と生産効率向上のため共同利用施設を使用する。

② 給餌方法の適正化

給餌方法については、ギンザケにストレスを与えない太陽が昇る前の給餌や、水温の状況把握することで適正な給餌を行う。又、短時間での給餌は餌食いが良くない為、朝1回3～4時間（同餌料）かけることで餌料費のコストダウンを図る。

③ 品質管理の徹底

養殖場における飼育(色・大きさ)管理体制はリーダーを中心に行う。養殖魚の水揚げ時の取り扱い、新鮮保持のため活ジメ出荷による品質管理を徹底する。

今後においても良質な種苗を使用し新鮮で美味しいギンザケを提供できる様に3経営体、力を合わせて良質のギンザケを出荷する

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

- ・事業実施者：宮城県漁業協同組合
- ・生産契約先又は契約養殖業者名：別紙のとおり
- ・実施年度：平成24年度～平成26年度
- ・取組みスケジュール

| 期 間 | | 23 年 | 24 年 | 25 年 | 26 年 |
|--------|-------------------|------|------|------|------|
| 検討期間 | 23 年 9 月～24 年 3 月 | | | | |
| 事業期間 1 | 24 年 4 月～24 年 8 月 | | — | | |
| 事業期間 2 | 24 年 9 月～25 年 8 月 | | — | — | |
| 事業期間 3 | 25 年 9 月～26 年 8 月 | | | — | — |

*実施はギンザケ養殖のみです。

(3) 施設復興計画

| 施設名 | 所有者（個人・共同の別） | 規格 | 震災前 | 復興1期目 | 2期目 | 3期目 | 活用する事業名 |
|------|--------------|--------------------------------------|-----------------|-------|-----|-----|----------------------------|
| 養殖施設 | 個人所有 | 生簀式 8m×8 角形 | 施設 台数 12台 | 7台 | 12台 | 12台 | 宮城県養殖施設 災害復旧事業 |
| 陸上施設 | 共同所有 | 馴致水 槽 64t (7m× 7m× 1.3m) | 1台 | 4台 | 4台 | 4台 | |
| | 個人所有 | | 3台 | | | | |
| 作業船 | 共同利用 | 15t未 満漁船 | 2隻 | 1隻 | 1隻 | 1隻 | 漁船等復旧支 援対策事業15t 共同利用 |
| | 個人所有 | 10t未 満漁船 | 1隻 | 1隻 | 1隻 | 1隻 | |
| | | 5t未満 漁船 | 3隻 | 2隻 | 3隻 | 3隻 | |

(4) 生産量及び経営体数

| 項目 | 震災前 | 復興1期目 | 2期目 | 3期目 |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| 生産量（t） | 576 t | 414 t | 768 t | 810 t |
| 生産金額（千円） | 264,960 | 186,300 | 345,600 | 364,500 |
| 経営体数 | 3 経営体 | 3 経営体 | 3 経営体 | 3 経営体 |

(5) 復興に必要な経費

| 平成21年度 | 震災前の 状況 | 復興1期目 | 2期目 | 3期目 |
|---------|------------|---------|---------|---------|
| 収入 | | | | |
| 生産量(トン) | 576 t | 414 t | 768 t | 810 t |
| 生産額(千円) | 264,960 | 186,300 | 345,600 | 364,500 |
| 経費 | | | | |
| 人件費 | 20,160 | 10,000 | 18,900 | 24,300 |
| 水道光熱費 | 2,130 | 1,750 | 2,400 | 2,600 |
| 種苗代 | 40,764 | 29,670 | 45,150 | 58,050 |
| 餌代 | 157,126 | 111,573 | 226,773 | 218,295 |
| 漁業権行使料 | 720 | 420 | 720 | 720 |
| 養殖用資材代 | 4,150 | 5,900 | 2,460 | 2,920 |
| 器具・備品代 | 6,520 | 6,400 | 1,580 | 9,000 |
| 修繕費 | 2,120 | 900 | 2,000 | 2,000 |
| 魚箱・氷代 | 1,728 | 1,242 | 2,942 | 2,430 |
| 販売費 | 11,650 | 7,063 | 12,023 | 16,210 |
| その他の経費 | 14,497 | 11,256 | 20,351 | 21,182 |
| 減価償却費 | 2,800 | 7,300 | 5,657 | 3,798 |
| 施設利用料 | | 0 | 1,740 | 1,740 |
| 経費計 | 264,365 | 193,474 | 342,696 | 363,245 |
| 収支 | 595 | △7,174 | 2,904 | 1,255 |
| 償却前利益 | 3,395 | 126 | 10,301 | 6,793 |

注) 種苗納入数量

震災前 47.4 t (1台 3.95 トン×12台) 47.4×12.15倍=576 t

復興1期目 34.5 t (1台 4.92 トン×7台) 34.5 t×12倍=414 t

2期目 52.5 t (1台 4.37 トン×12台) 52.5 t×14.6倍=768 t

3期目 67.5 t (1台 5.62 トン×12台) 67.5 t×12倍=810 t

※ 飼育成績については被災前の12.15倍、増肉係数1.45を参考とし、復興1期目から生産量・餌代等を生産倍率12.0倍(2期目は14.6倍)、増肉係数1.40(2期目は1.48)で試算した。

《養殖の生産方法》

ギンザケ養殖の生産期間は、11月から8月まで。残りの2カ月間は養殖の準備期間に該当し、生け簀の整備及び網の手入れ等を行い周年操業が生じる。

生産は、11月に稚魚養殖場から稚魚を搬入し(平均 150 g)海面の生け簀で給餌を行い、4月中旬から選別出荷(約 1.3~3.0 kg)し8月までに出荷を完了する。

〈経費等の考え方〉

経費は被災前である平成21年度の決算書類を基に作成した。

- ※ 種苗代単価・・・860 円/kg で算出。
- ※ 飼料単価・・・210 円/kg で算出。
- ※ 漁業権行使料・養殖施設1台(60,000円)あたりの行使料を算出し計上。
- ※ 販売費・・・水揚げ全量に対する共同販売手数料(0.75%)算出し計上。
- ※ 施設利用料・・・生産に係る施設費用を算出し計上。
- ※ 人件費・・・経費控除後の収益より、事業内容・規模により算出し計上。

《餌代に係る経費計画》

- ※ 増肉係数を被災前 1.45 から 1.40 に改善することで飼料金額の圧縮を目指す。これまでの1日2回の給餌を1日1回の給餌とする。また、飼料効率が大幅に低下する高水温時には、給餌量を少なくすることでの餌料効率の改善を見込み増肉係数を 1.40 と試算した。

6 復興後の目標

(1) 生産目標

| | 震災前 | | 10年後 |
|----------|-----------|---|-----------|
| 養殖施設数 | 12台 | | 12台 |
| 陸上施設数 | 4台 | | 4台 |
| 養殖業者数 | 3 経営体 | → | 3 経営体 |
| 常時養殖従事者数 | 5人(経営者含む) | | 5人 |
| 臨時雇用者数 | 5人 | | 5人 |
| 生産量 | 576 t | | 900 t |
| 生産金額 | 264,960千円 | | 405,000千円 |

(2) 生産体制

ギンザケ養殖に係る養殖施設（イクス枠6基分）は、宮城県養殖施設災害復旧事業を受け復旧整備した。共同による生産管理、品質管理体制をルール化し統一する。また、種苗、餌飼料の統一化を行うことで安定した品質の製品を計画的に出荷することにより、収益の改善を目指す。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

| 実施時期 | 協議会・部会 | 活動内容・成果 | 備考 |
|----------------|------------------------------------|----------------------------------|----|
| 平成24年 3月21日 | 第1回中部地域 養殖復興協議会 | ・会長の選任 ・運営事業実施計画について | |
| 平成24年 3月22日 | 第1回女川町支 所グルメイト ギンザケ部会 協議会 | ・部会長の選任 ・養殖復興計画の検討、承認に ついて | |
| 平成24年 3月22日 | 第2回中部地域 養殖復興協議会 | ・養殖復興計画の検討、承認に ついて | |
| 平成24年 4月13日 | 第1回女川町支 所グルメイト ギンザケ部会 協議会 | ・養殖復興計画の検討、承認に ついて | |
| 平成24年 4月13日 | 第2回中部地域 養殖復興協議会 | ・養殖復興計画の検討、承認に ついて | |
| 平成25年 7月30日 | 第9回中部地域 養殖復興協議会 | ・養殖復興計画の変更承認について | |